

70周年の感謝を込めて

本市を代表する歌手 菅原都々子さんにお話を伺いました。

歌手デビュー70周年、思えば長かったような短かったような感じがしております。いろいろな出来事がございますが、歌手としても、家庭人としても、とても幸福な70年を過ごさせていただいたと感慨一入（ひとしお）です。今のわたしがあるのは、今日まで心からわたしを支えて応援して下さいました。大勢の力が好きだということの思いが、私などときでも温かく応援して下さいました。

のかたがいらして下さったおかげだと、心から感謝致しております。どんな言葉で感謝の気持ちを表したらよいのかわかりませんが、本当にありがとうございます。当時、わたしはエレジーの女王というレッテルを張られておりましたので、「月がとっても青いから」を歌うことで、明るい一面をお見せできてうれしかったです。この曲は父陸奥明が作曲をし、清水みのるが作詞をした歌です。詞が良いとだまっけていてもメロディー

が浮かぶといって、あつという間に出上がった作品でした。これから10月21日(日)に十和田湖公民館で開催される第1回「月がとっても青いから」カラオケコンクールで特別審査員の重い役を身に受け、今から緊張しています。審査員の経験がありますが、皆さんの少々不安ではありますが、皆さんが歌って下さるのを楽しく聴かせていただきます。皆さんとお会いできるのを楽しみにしています。

菅原都々子プロフィール

本名 永松都々子 (ながまつつこ)
 芸名 菅原都々子 (すがわらつづこ)
 生年月日 昭和2年8月15日
 住所 神奈川県相模原市
 出身 青森県十和田市

「月がとっても青いから」

作曲：陸奥明 作詞：清水みのる

月がとっても青いから
 遠まわりして帰ろう
 あの鈴懸の並木路は
 思い出の小径よ
 腕をやさしく組み合せて
 二人っきりで サ帰ろう

月の雫に濡れながら
 遠まわりして帰ろう
 ふと行きずりに知り合った
 思い出のこの径
 夢をいとしく抱きしめて
 二人っきりで サ帰ろう

月もあんなにうるむから
 遠まわりして帰ろう
 もう今日かぎり逢えぬとも
 思い出は捨てずに
 君と誓った並木みち
 二人っきりで サ帰ろう



菅原都々子

問い合わせ先

総務課文書広報係

☎ 0176-235111 内線156

- ① 陸奥明(父)との思い出の写真
- ② レコーディング風景
- ③ 25才のとき
- ④ 12才のとき



広報とわだ 平成19年10月1日号(1日発行) 第60号 発行/十和田市 ☎ 034-885 青森県十和田市西十二番町6番1号 ☎ 0176-235111(代表) 編集/総務課 印刷/有共立印刷所